

各種証明書などの申請・届出

パソコンからできます！

10月1日(日)午前9時から、自宅などのパソコンからインターネットを利用し、各種証明書の申請や各種届出などの手続きができる「電子申請システム」サービスを、開始します。

電子申請システムは、24時間いつでも申請・届出などができるほか、前もって手続きをすることで、窓口での待ち時間が短縮できます。

また、兵庫県電子申請共同運営システムを利用している県内の他市町の手続きも行うことができます。この場合は <http://www.sinsei.e-hyogo.jp> へアクセスしてください。

利用方法については加東市ホームページから「電子申請」をクリックしてください。



電子申請が可能な手続き

	手 続 き 名	担 当 課
1	所得・課税証明交付申請	税 務 課 *証明書の受け取りや手数料の支払いは各庁舎の総合窓口センターまでお越しください。
2	納税証明交付申請(市県民税・固定資産税・軽自動車税)	
3	軽自動車税納税証明交付申請(車検用)	
4	固定資産評価証明交付申請	
5	固定資産公課証明交付申請	
6	市県民税特別徴収に係る給与所得者異動届	
7	特別徴収義務者の住所地・名称変更届	
8	犬の死亡届	生 活 課
9	犬の登録事項変更届	
10	まちぐるみ総合健診及び婦人がん検診申込	健 康 課

証明書を受け取る場合は、本人確認が必要です。
今後、電子申請ができる手続きの利用範囲を拡大していく予定です。

問い合わせ 加東市情報管理課(社庁舎) ☎ 43 - 0404

公立社総合病院から お知らせ

新しい内視鏡検査導入へ ~検査が楽になります~

このたび新しく導入した経鼻内視鏡検査について説明させていただきます。

今まで食道・胃・十二指腸などの上部消化管に対する代表的な検査は、口から内視鏡を挿入する経口内視鏡検査でした。経口内視鏡検査は、内視鏡を挿入する際に舌やのどを刺激するため、強い吐き気や嘔吐反射が出現し、その結果、多くの人に「胃の内視鏡検査は苦しい」という印象を与えてきました。また、内視鏡の太さは改良されて細くなりましたが、それでも飲み込む時に人によっては、強い苦痛を伴うために内視鏡検査を敬遠する人がいました。そのために、施設によっては鎮静剤や鎮痛剤を使用し、経口内視鏡検査を実施していました。しかし、鎮静剤や鎮痛剤を使用した場合、その副作用による眠気、ふらつきのため、車の運転が半日できないといった制約がありました。

そこで、より苦痛の少ない検査法として経鼻内視鏡が開発されました。経鼻内視鏡は鼻からのどを通過して、食道・胃と入っていきますので舌を刺激しません。そのために経口内視鏡と比較して、挿入時の苦痛や観察時の吐き気や嘔吐反射が軽減され、検査中の患者さんの負担が軽減されました。

また、検査中に会話ができますので、意思の疎通が円滑になり、リラックスして検査を受けることができます。具体的な検査方法ですが、まず、



経鼻内視鏡(上)と
従来の内視鏡(下)

経鼻挿入のために鼻腔の麻酔が必要です。鼻腔粘膜に内視鏡が接触すると鼻出血を起こしますので、その予防と鼻の通りを良くするために、鼻腔に局所血管収縮剤をスプレーで噴霧します。つぎに、

鼻腔に局所麻酔剤を注入します。その後、内視鏡と同じ太さの柔らかいチューブを鼻腔に入れて、内視鏡が無理なく通過することを確認します。鼻腔に狭窄のないことを確認してから経鼻内視鏡を挿入し、食道・胃・十二指腸と観察していきます。経鼻内視鏡の欠点としては、経口内視鏡に比べて観察時間が少し長くなることと、鼻腔の狭い人には挿入できないことです。また、数%の頻度で鼻出血が起こりますが、10分程度鼻を押さえていれば止血できます。

私も経鼻内視鏡を体験しました。経口と比較して、吐き気や嘔吐感がずいぶん軽減した印象を持ちました。ただ、挿入時に軽い鼻痛を感じました。それと検査終了後に、すこし鼻水が多く出るようです。全体としては、「経口内視鏡検査より楽だな」と感じました。経鼻内視鏡は1本しかありませんので、予約制となりますが、口からの検査で苦しい思いをされた方は、ぜひ経鼻内視鏡検査を試してください。

公立社総合病院副院長 大竹 啓夫